

大草谷津田いきものの里 然観察会

カエルぴよこぴよ何種類？

相吉達夫（松戸市）

日 時：2024年6月16日（日）10:30～12:00、天候：曇り

参加者：24名（大人12名 子ども12名）

担当指導員：小川、山下、遠藤、相吉、参加指導員：2名（木下、内島）

当日は前日まで雨の予報で心配していましたが、朝のうちに雨が上がる予報に変わりほっとしました。現地は雨上がりでカンカン照りではなく、今回のテーマのカエルにはちょうど良い環境でスタートできそうだ。参加人数34名のところキャンセル10名で24名の参加になった。今日のテーマ、注意事項の説明をし3班に分かれて出発した。カエルのいる谷津田までの道中にはたくさんの発見があって、またそれはそれで面白い。最初にカタツムリを食べるコウガイビル その容姿に子どもたちのテンションも上がってきた。そして、ザトウムシ、ナミテントウムシ、ヒシバッタ、倒木には枯れた樹木を分解する赤いキノコなどを発見し、なかなか谷津田にたどり着けない。そんな中、死んでも色が変わらないタマムシを発見、ひとりの親御さんが一押しの子らしく大喜びしていた。その後、カノコガの交尾、カメムシの仲間やテングダケの仲間を発見しつつメインの谷津田に到着。田んぼにはニホンアカガエル、ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエル、ゲンゴロウ、ヤゴ、オオタニシ、ヌマエビ、アメンボ、トンボ、チョウなどがいて賑やかだ。そして、各自分かれて生き物捕りの始まりです。捕ったものを朝に用意した展示場に持ち寄り観察する。ケースの中にはカエル、様々な形態のオタマジャクシ、ヤゴ、ドジョウなどが展示されていて、またカエルの吸盤がケース越しに見えて皆んな展示物に釘付けだった。そして最後に食物連鎖をテーマにした自然の秘密と題する紙芝居をした。子どもたちの真剣な眼差しを見てこちらも嬉しくなった。そして、観察会の振り返り、感想などを言ってもらいました。参加者の方々の笑顔が目立ちほっとしました。そして、観察会を無事に終わることができました。現地解散して最初の場所に戻るとひとりの子どもが屋外の洗い場のU字溝の中にアズマヒキガエルを発見、近くに逃がしてあげた。グレーチングでふたをしていたので、出してあげなければおそらく死んでいただろう。気づいた子どもに一同感謝、感心する。最後の最後に良い出来事があり和やかな雰囲気でお観察会を終えた。今回の観察会を担当、参加された指導員の方々ご指導ご鞭撻のほどありがとうございました。



観察会 注意事項の説明 「自然の秘密」の紙芝居の始まり タモの中には何がいるかな？